



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O TOSHIHIDE AKIZUKI  
 8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA  
 HYOGO JAPAN

M A Y 1998. No. 11  
 The Service Club to the YMCA  
 Chartered July 20, 1982

## MOTTO (1997~1998)

○IP & AP

"REALIZING TOGETHER OUR VISION"  
 2000 CLUBS TOWARD THE YEAR 2000

"共に目ざそうビジョンの実現-2000年2000クラブ"

○RD "ビジョンを掲げ、青年と共に働くワイズ"

Let's serve hand in hand with Youths under Y's Vision!

○DG "新たな感動 新たな奉仕"

○CP 「友と語ろう、生き甲斐を見つけよう、感謝を形にしよう」

= 月間強調テーマ: 「YMCAサービス ASF」

## 5月の聖句

子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。

これによって、わたしたちは自分が真理に属していることを知り、神の御前(おき)で安心できます、心に責められることがあろうとも。神は、わたしたちの心よりも大きく、すべてをご存じだからです。愛する者たち、わたしたちは心に責められることがなければ、神の御前で確信を持つことができ、神に願うことは何でもかなえられます。わたしたちが神の掟(おきて)を守り、御心に適(あた)うことを行っているからです。その掟とは、神の子イエス・キリストの名を信じ、この方がわたしたちに命じられたように、互いに愛し合うことです。神の掟を守る人は、神の内(うち)にいつもとどまり、神もその人の内にとどまってください。

(ヨハネの手紙 1 第3章 18~24節)

## 5月第1例会

日時: 1998年 5月 20日 (水) 6:30 ~ 8:30 p.m.  
 場所: リーガランドホテル

司会: 中村 隆幸 君

1. 開 会 点 鐘 藤原 正巳 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖 句 朗 読 福永 嘉彦 君
4. ゲ ス ト 紹 介 藤原 正巳 会長
5. 日々のご及び黙 禱 一 同
6. 晩 餐 一 同
7. 卓 話  
 「日本におけるNPO活動の現状について」  
 大阪NPOセンター事務局長 真嶋 克成 氏
8. お 誕 生 日 祝 い 一 同
9. ニコニコ 献 金 ドライバー
10. 役員会・委員会報告・YMCAニュース
11. 閉 会 点 鐘 藤原 正巳 会長

4月在籍者	4月出席者		4月出席率	BFポイント
	第1期	第2期		
27名			70.4%	4月分切手 1,787 gr. 現金 2,500 円 本年累計 切手 8,481 gr. 現金 34,600 円  (期"4月BF點"を繰越)
広義会員	メン 17名	6名	(マイクラブ誌)	
0名	メネット 8名	0名	前月出席率	
合計	コメット 0名	0名	修正 - %	
27名	ビジター 0名	0名		
	ゲスト 0名	0名		
	合 計 25名	6名		

## 役員

会 長: 藤原 正巳  
 副会長: 津田葉清政  
 " 栗山 佳三  
 書 記: 三浦 直之  
 " : 坂本 哲朗  
 会 計: 秋月 利英

◎4月ニコニコ献金  
 19,300円

◎5月第1例会当番: (第1班)中村君, 福永君, 池永(栖)君, 神田君, 堀井君

《今月の聖句に寄せて》

ここで述べられている「愛」は、以前にもこの欄で書いたように、人間的な自己中心の愛ではなく、人類愛とでも言い得る、自己を捨てて他者の立場に立って考える愛です。そうして、ここではキリストはこの絶対的な愛の実践を私たちに命じています。

「心に責められることがあろうとも」この愛の実践により、神の前で安心できると説き、更に「心に責められることがなければ」神の前で一層確信を持つことができ、神への願いごとは何でもかなえられると断言しています。

「私たちが純粋な思いで、しかも確信をもって神に祈るとき、その願いはかなえられるものである」とこの聖句は、何かしら私たちに力と勇気を与えてくれるように思います。

(聖句選・解説： 黒田 巖之)

-----  
= 4 月 第 1 例 会 報 告 =

(4月15日(水) 6:30 p.m.)

栗 山 佳 三

菜種梅雨のような日が続くなか、4月第1例会は好天に恵まれて開催されました。6時30分の定刻を過ぎてもバラバラと空席が目立ち、どうなることかと気を揉んでいましたが、遅刻組も出揃い、いつもの盛況さを取り戻しました。

今日の司会は池永君、藤原会長の開会点鐘の後、食事までの間にワイズ70周年記念史の購入依頼(自己負担2千円、残額クラブ負担)、黒田君の消息(5月例会にはご出席予定)、5月例会のゲストスピーカーの紹介など少々長い会長挨拶がありました。

また70周年史の「序」を執筆された鈴木君から、執筆の依頼があったのは闘病の最中であったこと、半年をかけて聖書を隅々まで読み直し、詩編90番に辿り着いたこと、写真は?十年前の若い時代のものなど、私達ワイズメンにとって心に響くお話がありました。

4月の聖句は本日欠席の芳崎君に代わって藤田君が朗読しました。ワイズとは愛のきずなで結ばれた同志の活動体だという黒田君の解説はまさしくそのとおりだと感じました。

今日の卓話は国際金融論がご専門の谷川君で、「金融ビッグバンと私達の暮らし」という難しそうなテーマでしたが、メンバーの程度にあわせて?大変分かりやすくお話をいただきました。

本題に入る前に、ワイズ70周年史の出版記念会に出席したときの話題から、同誌の編纂に当たってメネ



(「金融ビッグバンと私達の暮らし」について懇切丁寧に話される谷川君)

ットに関する資料が乏しく、編集者が大変苦勞をしたと言うことで、メネットに関する活動記録をブリテンなどに活字で残しておいて欲しいという要望のあったことが伝えられました。

さて、本題に入り、年功序列や終身雇用、株式の持ち合い、官僚主導の護送船団方式といった米・欧とは異質の日本型資本主義が破綻した結果、景気が低迷し、市場の空洞化をもたらしたとの反省から、金融市場の活性化と日本経済再生の願いを込めて決断したのが「ビッグバン・金融大改革」と言うことになるようです。(お分かりでしょうか?)

この大改革のポイントは①自由化(規制撤廃)②フェア(公正)③グローバル(国際化)と言うことで、銀行、証券、生保といった業種の垣根を超えてルールを守ってお互いに切磋琢磨する、しかも外資の参入も自由ですから金融業界の大競争時代が到来するわけです。従って私達の資産運営の方法も多様化し、どれを選択するかを各個人の責任と判断で選ぶ時代が到来いたします。(失敗しても国は助けてくれません。)

すでにフィナンシャルプランナーと呼ばれる運用コンサルタントが活躍していますが、最終に決断するのはあなたがた奥様であり、そのためには今から十分勉強しておく必要がある、というのが結論のようであります。今日の話は私達の生活に直接かかわってくる話であり、メネットの目が輝いていたことを最後に報告いたしておきます。

卓話に続いて柴田ご夫妻、神田君、隅田メネットの誕生日をお祝いした後、神田君からYMCA国際英学会の会計報告、秋月君から当部がホストする次期中西部会、一泊研修会の報告、未使用テレカによるファンづくり協力の依頼があり、藤原会長の閉会点鐘で大いに盛り上がった本日の例会を終了しました。

以上

## = 4 月 第 2 例 会 報 告 =

(4月22日(水) 6:30p.m.)

書記 三浦直之

1. 5月第1例会プログラム：(別掲の通り)
  2. 6月第1例会(6/17(水))：-評価・計画-
    - 「1年を振り返って」藤原会長
    - 西(東)日本区大会報告
    - クラブ員年度表彰
  3. 中西部会の件：
    - 日時：1998年10月24日(土) 13:00~18:00
    - 場所：リーガランドホテル<蘭の間> <エンパイア>
    - 出席者：120名の予定
    - 会費：メン 8,000円、メネット 7,500円の線で検討する。
    - 講演とアトラクション(理マドリクラブ)を企画中
  4. IBC：
    - エルナクラム(コチン、インド)とのIBC関係解消に関する話があった。当クラブとしては現在永い間連絡がとれていないので、解消する事に異論はない。谷川君に手続きをお願いします。
  5. 各クラブ案内：
    - 神戸ボートクラブ 10周年記念
      - ・チャリティコンサート  
(5/9(土) 14:30~16:00 於 東灘区民ホール)
      - ・特別例会(5/9(土) 16:30~18:00 於 シア・ブザ)
    - 宝塚クラブ10周年記念 式典・祝賀会  
(6/27(土) 14:00~17:00 於 宝塚ホテル)
    - 西宮クラブ50周年記念 記念会  
(7/4(土) 13:30~16:30 於 緑川市民センター)
  6. 西日本区大会参加者：14名 (秋月、池永(洋)、黒田、栗山、坂本、鈴木、福永、藤原、三浦山田各々、坂本、隅田、鈴木、山村各々メット)
  - 国際大会参加者：4名(鈴木各々、鈴木メット、山田、栗山各々)
7. その他
- (1) 関西いのちの電話製作のチャリティ絵葉書(5枚入り、1セット)の販売：
    - 収益金を神戸YMCA震災の基金に寄付することが条件で、西日本区大会で行いたい。
    - これは山田メンの発案による。
  - (2) 例会でなるべく大勢の方に発言して頂くよう工夫する。
    - 次月例会よりニコニコの用紙を会の初めに配り、回収後、何名かの方に発表してもらう。
  - (3) 物品より、スプーン、フォーク各 30本づつ発注する。

## = 5 月 第 2 例 会 =

日時：1998年5月27日(水) 6:30~8:30p.m.

場所：リーガランドホテル

## 【月間強調テーマ】

### ◎YMCAサービス (YMCA Service)

西日本区の事業の一つで、YMCAへの直接の奉仕を立案・実行する。

YMCA指導者育成のための財的援助を目的とするASFもYMCAサービスの重要な一環であることから、現在はYMCAサービス・ASF両事業を兼ねて担当する事業主任を置いている。各クラブは区レベルのサービスと共に、関係YMCAへの的確な奉仕・協力を進めるべきである。

### ◎ASF (Alexander Scholarship Fund) :

ワイズメンズクラブの創始者P.W.アレキサンダー判事を記念して設置された奨学資金。YMCAに奉職し尽力しようとする有為の青年に財的援助をするのが目的。

西日本区では人数割で一定額を集めるほか、自由献金を奨励して必要な資金を作っている。その1割を国際ASF事業に送り、ほかは西日本区でYMCAサービス・ASF資金として運用する。  
("HANDBOOK & MEMBERSHIP ROSTER 1997-98"より)

YMCAから、今求められている事柄を十分理解する為のプログラムをクラブ例会のなかに設定して下さい。連絡主事の任務を理解して、十分語り合い、お互いの理解を深めて、ASFに相応しい人材発掘を心がけて下さい。

(西極強調リストのポイントより)

## 5 月 お 誕 生 の 方

Happy Birthday following people .....

隅田君 3日 秋月君 8日

川越メット 16日 芳崎君 20日

## = B F 4 月 度 報 告 =

(4月度の合計・本年度累計は第1面に掲載)

### ○切手提供者:

秋月君、池永(栖)君、神田君、栗山君、坂本君、鈴木君、隅田君、谷川君、中村君、福永君、藤原君、三浦君、山田君、川村君、堀井君、山村君 計16名

### ○現金提供者:

栗山君、山田君、山村君 計3名  
(BF 山村幸明)

【個人消息】 黒田巖之君：骨折で入院中のところ、4月退院されました。5月例会にご出席予定の由、お会い出来るのを楽しみにしています。

山田 孝彦

恒例「春の一泊研修」は4月26～27日芦屋奥池の大丸保養所にて17名のメン・メネットが参加して行われた。前日までの雨もすっかり上がり、好天に誘われて、4時前から次々に到着。くつろぐ間もなく会議室に集合。MET(Music & Entertainment)委員の秋月君から未整理切手の袋と鉄が各自に配られる。全員集合を待つ間に空いた手で切手切りをしるというわけ。

やがて、5時前本日のもう一人の主役、神田君が到着。夕食7時までの時間は連絡職員を囲んで、YMC Aとの協働関係をもっと緊密に、活発にするために、双方がどんなアクションを取るのか、取れるのかといった、具体的な方法について討議した。

「地球・地域・家庭・子供」を対象とするというYMC Aの事業活動が、今現在の社会的要請にタイムリーにフィットできているのか。例えば地球温暖化問題に関する行動計画といったものはあるのか。

また、Yとワイズといった一般論ではなく、土佐堀Yとセンチアルが具体的に何をどのように協働するのか、そのためにもYからの要請を待つばかりではなく、センチアルから具体的な活動テーマを提起した時、Yにそれに対応する仕組みはあるのか、その窓口は誰か？

このようにワイズがYにというだけでなくYからワイズへという双方向の協働関係を実現するために、何があって何が欠けているのかといったことを、議論するだけでなく、チャレンジしようという結論で討議を終えた。

勿論この間も、問題提起の時以外は各自切手切りの手は休めずに、進行した。これがまた議論を建て前ではなく、本音で進める雰囲気作りに効果があったように思える。

討議が白熱し、夕食は7時半になって始まった。瀬戸内の海の幸が山盛りの魚すきは、山中の少しひんやりした空気にびったりのご馳走。一同ひたすら箸を動かし舌づつみを打つ作業に専念・・・。

食後休む間もなく、アタマの体操の時間が始まる。国語・体育・算数と時間切りで次々出されるクイズ難問奇問にワイワイガヤガヤと取り組み、終わったのはもう11時。各自台所用品の豪華(?)賞品を貰ってご満悦の中に、このセクションは終了。一旦解散ののち有志によるカラオケ大会。明日があるから泊まらずに帰ると言っていた人も、1曲は歌わねばと参加。気が付けば深夜1時。それでも足りない数人が、大部屋に集まって討論を始めたが、この辺りから睡魔と酔魔に襲われてまとまらず解散は多分午前2時過ぎであった？

それでも翌朝出勤組は7時に、後組も7時半に朝食を済ませて思い思いに帰路についた。

頭もお腹も一杯に満たされた行事ではあった。

【参加者】 坂本夫妻・鈴木夫妻・隅田夫妻・福永夫妻・山田夫妻・秋月・川村・神田・栗山・藤原・三浦・山村

\*\*\*

## =インフォメーション=

中村 幸枝

簡単に作れる手芸品を集めたいと思います。米年度のメネット会の時には、見本をたくさん提出して頂きたいと思います。今からお心がけ下さいますようお願い致します。

\*\*\*

## =メネットからの贈物=

- 道半ば センテニアルとともに -

中村 幸枝

一人で：子供達が幼く、外出がままならなかった頃、Y'sの例会に出席した主人が、おみやげを持ち帰ってくれるのが常でした。メネットさんからのご機嫌伺いのお手紙だったり、誕生日プレゼントのスプーン、ファンドの為のお品もあったでしょう。展覧会のチケット等、公私とりまぜておみやげがありました。それらを見ながら例会の様子を聞くことは、心の和むことでした。そんな幸せな思い出があるからでしょうか、今私は小さなケーキを焼き、メネットファンドのミニバザーに出しています。メンが「明日ワイフと頂くよ」と言って買って下さるのは、何と嬉しいことでしょうか。今日も一人で台所でケーキを焼いています。

二人で：この春から二女も中学生。国語の第一頁は工藤直子さんの詩「めがさめた」。私も3月末、関西のちの電話のお手伝いをして工藤さんの公開講座でした。「何か忘れていませんか、いそぎすぎていませんか」の副題の如く、楽しいひとときでした。その夜、ふてくされ現象にはまってしまった中一の娘に、この時買った「のはらうた」の詩を、かまきりりゅうじ君や、てんとうむしまる君の詩を、片っぱしから読んでやりました。ただでさえ大きな目がクルクルンと回り始め、身体を私にすり寄せてきました。あとは母子してキャッキョッと笑い合いました。サインをして頂いてたら、この本はもっと威力が出て、黄門さんの印籠のようになったかも知れないと思いました。こんがらかった毛糸玉のような思春期。そのほぐし方の一つの方法を教えられたような、工藤直子さんの詩集でした。

多勢で：主人の勤務先の野球部の若者、その対戦相手の人たち、特に外国人チームの面々が月に一度我家にやってきます。私たち家族もハワイを旅行すると、必ずヌアヌクラブのラリー・ヒラナカさん一家がお宅にお招き下さいます。観光地を見て回る旅とは違って本当に素晴らしい思い出ができます。ラリーさんのおもてなしのようにはいきませんが、狭いマンションだけれど、日本の一般家庭を見て頂くことも何かの参考になればと思い、私はせっせとお総菜で、食卓を演出します。日本で20代の日々を過ごす若者の話を、ビールを飲みながら主人は聞いています。食後必ず、チンチラ一匹、ハムスターがファミリーで、それとカメがごあいさつに出てくるという家が、そんな気楽な行き先が一軒くらいあってもいいですね。

\*\*\*

神田 尚人

\* 早天祈祷会

日時：5月15日(金) 午前7時半～8時半  
場所：大阪YMCA会館 10F チャペル  
証し：山中 幹雄氏 (大阪YMCA職員)  
会費：300円 (軽食代)

\* 会員大会

日時：5月26日(火) 午後6時半～8時半  
場所：大阪YMCA会館

プログラム：

1. 会員表彰 (奉仕の書に誌する会員)
2. 報告と協議
  - (1) 常議員の選任
  - (2) 1997年度事業および会計の報告
  - (3) 1998年度基本方針の説明
3. フェロシップアワー

\* 4月の例会で、「日本ワイズメンズ運動70年史」を入手しましたが、序を書かれた我がセンテナルワイズの至宝鈴木謙介氏の、序にかける意気込みをお聞きすることができ、感銘を深くしました。病床にあって詩編を徹底的に読み、1頁余りの序に数ヶ月を費やされたとか。そして、「考えるとYMCAには寛容と協力を永い間頂いた。YMCAとのパートナーシップは不動である。われらの存立の基礎でもある。」との一節には、今や私どもYMCAが、ワイズメンからの深い寛容と多大な協力に包まれていることを感じます。例会の最後に私の感動をお伝えすると、「詩編の90編を、よくお読みなさい。」と言われたこともまた、強く印象に残りました。

\* さて、4月26日の一泊研修では、まさしく上記の「パートナーシップと存立の基礎」について皆様とともに考えることになりました。何かテキストがあるな—と思っていると、同盟が発行しているYMCAスタディーシリーズという冊子に、「新しいYMCAの形成—ワイズメンズクラブ/YMCAジョイントタスクチーム報告—」があると、他のワイズを担当するスタッフから助け船が出ました。既に、お読みになった方も居られると思いますが、この冊子の「はじめに」、「協働をベースとして」と「まとめ」の部分に、私の目から見て示唆に富んだ所があるので、ともに学び語り合う材料として用いたいと思います。

\* この5月のブリテンが出る頃には、研修も終わりその評価も定まっていることでしょう。良きご報告ができればと願っています。\*\*\*

1996年度 財団法人大阪キリスト教青年会  
国際奨学基金会計報告

(1996年 4月 1日～1997年 3月31日)

(単位：円)

<収入の部>

前年度繰越金	12,521,006
指定寄付 1件	50,000
南Yファミリーカーニバル収益金	450,000
クリスマス献金拠出金(ヴェクトル)	300,000
クリスマス献金拠出金(國際報)	300,000
クリスマス献金より組み入れ	1,200,000
協力会員のつどい収益金	19,144
賛助会助成金	2,500,000
留学生傷害保険保証金戻り	30,000
受取利息	107,602
合計	17,477,752

<支出の部>

1996年度上半期奨学金支給 9名	1,800,000
1996年度下半期奨学金支給 11名	2,200,000
留学生災害補償保険料	219,300
留学生のための敷金一部援助	800,000
中国研修生受入れ援助金	800,000
合計	5,819,300
次年度繰越金	11,658,452

1997年度 大阪YMCA国際奨学金報告

(1998. 4. 15)

<主な収入項目>

前年度繰越金	11,658,452
留学生バザー(7ペ)	200,000
クリスマス献金(ヴェクトル)	120,000
〃 (カレッジ)	250,000
賛助会助成金	2,000,000

<主な支出項目>

国際奨学金	
在校生：春期3名	600,000(*)
秋期3名	600,000(*)
留学生災害治療保険料	30,100

(\*)：40,000×3人×5ヶ月

国際奨学金選考委員会作成

1997年7月17日

◎ 詳細は決算が済み次第ご報告致します。

## ◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;  
We raise our hand, Our service pledge renewing,  
Ne're to deny our motto's claim,  
Y's Men in fact as well as name,  
Always our objects to pursue,  
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて  
とおきも ちかきもみな  
ささげて 立つやワイズメン  
さかえと ほまれゆたか  
まことは 胸にあふれん

## ☺ ニコニコ・メッセージ ☺

- 谷川さんのお話をお聞きして、良い勉強になりました。感謝!! .....秋月利英
- ビッグバンむつかしいですね。谷川さん、有難うございました。 .....池永洋宣
- 久しぶりに例会に出席し、メネットの皆様とお話できました。 .....池永美智子
- 2ヶ月程お休みしました。谷川さんの解説、もう少し伺いたいくらい。これからまたチャンスをお願いします。ありがとうございました。 .....池永栖子
- 金融ビッグバンの講義、大変参考になりました。金融新時代を迎え、かしこい消費者になる必要がありそうです。 .....川村一夫
- 金融ビッグバンで、消費者主権の時代を迎えるとの谷川さんのお話ですが、元手(ばて)のない者は、はてどうするかと考えました。谷川さん、今度はそのこともお教え下さい。  
誕生日(46才)感謝です。 .....神田尚人
- 今までビッグバンは金融業界の話と考えていましたが、今日の話で目が覚めました。それにしても「自己責任」とは厳しい。 .....栗山佳三
- 谷川さんの金融ビッグバンのお話は、とても有益なお話だと思いましたが、まだ私には遠い話の様に思えます。勉強不足を反省。 .....坂本千春
- 4月は、私も家内も誕生日で、ラッキーな月です。谷川さんの「金融ビッグバンの話」も解りやすく、面白かったです。楽しい例会で感謝です。 .....柴田 健
- とってもうれしい事、悲しい事があり、心が疲れしました。今日は元気にクラブへ出席出来ました事をうれしく思っています。 .....柴田暢子

- 日本ワイズメン運動70年史が発刊され、わがクラブは全員購入が実現して何よりです。この書物についてのコメントを数分発言出来たことよかったですと思います。 .....鈴木謙介
- 例会に出られたこと、又、金融のお話をおもしろく聞きました。わかったようなわからないことの多いのも面白く伺いました。谷川さん、ありがとうございます。 .....鈴木美藤
- ビッグバンで資産を有利に動かすいろいろな方法をうかがいました。まず、宝クジがあたるといいのになあ。 .....隅田恵子
- お話をする機会を与えていただき、有難うございます。 .....谷川 寛
- 先月に引き続いて出席、毎月続けられたら...と願っているところです。今月は女性の出席が多く、うれしいです。 .....谷川有美子
- 金融ビッグバンの話を聞きながらの小さな献金です。老後にそなえてもう少し勉強しなければと思います。谷川さんありがとうございます御座居ました。 .....津田葉清政
- 毎朝同じ制服を着た二人の中学生にお弁当を持たせて送り出しています。少々私、時間ができました。 .....中村幸枝
- 谷川さん、有難うございました。年金生活者には至って深刻な事態です。 .....福永嘉彦
- 谷川様、タイムリーなお話を頂き有難うございました。ビッグバンで我々のくらしも変わりますが、やはり何もしないでいゝ話は来ないと思います。楽しい生活の為には、勉強が必要なことを痛感しております。 .....藤原正巳
- 経済の安定は心のゆとりをもたせてくれると思います。現在の日本の不安を早く吹きとばせる事を願っています。谷川様、有難うございました。 .....堀井由里子
- 谷川メンのタイムリーな話題(ビッグバン)は大変興味深く聞きました。 .....三浦直之
- 去る28日、いのちの電話公開講座には、メネットさんにもご奉仕頂き、好評のうちに終わりました。感謝です。 .....山田孝彦
- 谷川さん、日本版ビッグバンのお話有難う。 .....山村幸明
- これからのくらしに勉強させていただきました。 .....山村利子

〔編集後記〕 新緑の美しい奥池で恒例の一泊研修が持たれ、真剣な討議とMET独特の頭の体操で充実した内容で終始することが出来たのは、ご同慶の至りで感謝です。今後のYと我々との緊密な発展を祈ります。紙面の都合で、研修会の名場面の写真が御披露できず残念です。申訳ありません。(YF)